

平成30年9月20日(木) 13012号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831(代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983(代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

7月非鉄金属輸入状況 銅は前月・前年同月比でマイナス
 ペルーからの輸入減続く

経済産業省資源エネルギー庁がまとめた2018年7月の非鉄金属輸入状況によると、銅鉱石の輸入量は9万3,553トンだった。前月比8.3%、前年同月比12.1%それぞれ減少した。

銅鉱石は、最大の輸入先であるチリからの輸入量が5万0991トン。前月比5.9%増、前年同月比では35.3%のプラスとなり、堅調な輸入状況が続いた。一方、ペルーは3,773トンにとどまり、前月比78.2%、前年同月比でも80.8%の大幅なマイナスだった。ペルーからの銅鉱石の輸入減が続いている。7月は豪州からの輸入が急増、前月比46.3%、前年同月比9.8倍の1万2,780トンで、輸入先別で2位となった。銅鉱石全体の輸入量に占めるチリの割合は54.5%で、6月から7.3ポイント上昇した。

亜鉛鉱石の輸入量は3万8,887トンで、前月比は4.3%増加した一方、前年同月比では2.2%減少。輸入先1位のペルーは1万2,232トンで、前月比は0.4%の微減だったものの、前年同月比では94.3%の大幅な伸びとなった。

鉛鉱石輸入量は4,162トンで、前月比31.8%、前年同月比59.5%のマイナス。国・地域別で最多の豪州も、前月比41.5%、前年同月比47.1%のそれぞれマイナスの1,881トンにとどまった。以下、ペルーが1,180トン、米国とポリビアが495トンなどとなった、豪州の輸入量が鉛鉱石全体に占める割合は45.2%で、6月から7.5ポイント低下した。

18年7月主要非鉄金属輸入状況(単位:トン)

銅	輸入量	比率 [%]
チリ	50,991	54.5
豪州	12,780	13.7
カナダ	12,277	13.1
インドネシア	9,718	10.4
ペルー	3,773	4.0
パプア・ニュー・ギニア	2,995	3.2
フィリピン	1,019	1.1
合計	93,553	100.0

鉛	輸入量	比率 [%]
豪州	1,881	45.2
ペルー	1,180	28.4
ポリビア	495	11.9
米国	495	11.9
ブラジル	111	2.7
合計	4,162	100.1

亜鉛	輸入量	比率 [%]
ペルー	12,232	31.5
豪州	10,695	27.5
ポリビア	8,291	21.3
メキシコ	2,775	7.1
米国	1,834	4.7
ブラジル	62	0.2
その他	2,998	7.7
合計	38,887	100.0

Copper
“セツ” は ALLOY の専門商社。

専門商社だから出来る豊富な品揃えと的確な在庫管理は、進化を続ける日本産業にもスピーディーに対応します。

海、陸、空。そして未来へ…。

■ “セツ” は特にアルミニウム青銅合金(アームスブロンズ)を重点にその優れた特性で様々な業界、あらゆる分野の発展に寄与。舞台は宇宙へ、深海へ。“セツ” は未来の要を支えます。

連続鑄造銅合金、ダイカスト製品ほか少ロット製品も迅速対応
 在庫常時 600t・CopperALLOY のことなら

CSM 摂津特殊金属株式会社

〒534-0011 大阪市都島区高倉町3-1-19
 TEL 06(6926)3751 FAX 06(6926)5557
 第二倉庫 大阪市都島区内代町4-6-22
 第三倉庫 大阪市都島区内代町4-6-4
 www.settutokusyu.co.jp



銅建値1万円引き上げ72万円

9月の月内建値平均は71万1,100円

JX金属は19日、電気銅建値を1万円引き上げ72万円とすると発表し、同日から実施した。2018年9月の月内建値平均は71万1,100円。

19日入電のLME銅相場セツルメントは6,003.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは113.30円。この値で換算した採算価格は68万0,100円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万9,900円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□4月	760(2)770(6)790(11)770(13)790(19)800(25)	平均778.5
□5月	800(1)790(7)800(14)810(23)790(29)	平均797.8
□6月	780(1)810(5)840(7)810(19)790(22)780(27)	平均810.0
□7月	780(2)750(5)730(12)720(20)730(25)	平均740.4
□8月	750(1)730(3)720(8)710(15)690(20)700(23)720(28)	平均716.0
□9月	710(3)700(6)710(13)720(19)	平均711.1



黄銅削粉1円引き下げ513円に

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は19日、黄銅削粉の買値を1円引き下げ513円とすると発表した。今月4回目の改定。



銅合金地金標準販売価格を改定

近畿青銅会(高木健会長)は、9月18日付で銅合金地金標準販売価格を改定した。各品目の標準販売価格は次の通り(単位:キロ当たり円、カッコ内は前回比)。

◇青銅BC1種:775円(0)◇青銅BC2種:950円(0)◇青銅BC3種:990円(0)◇青銅BC6種:830円(-5)◇青銅BC7種:865円(0)◇黄銅YBSC3種:685円(+5)◇鉛青

近畿青銅会

銅LBC3種:955円(0)◇りん青銅PBC2種:1,010円(0)

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



古河電工

オープンイノベーション強化

米シリコンバレーに研究拠点開設

古河電工(小林敬一社長)は、米国カリフォルニア州シリコンバレーに研究拠点をこのほど開設した。自社の持つ技術やノウハウを社外との連携により活用し、革新的なビジネスやサービスの創出を目指す「オープンイノベーション」とグローバルな産学連携をより強化するのが目的。同社の海外拠点は、米国では3か所目、ハンガリーを含めて4か所目。

シリコンバレーの拠点では、最先端の技術・市場の情報収集と、オープンイノベーションを推進、破壊的イノベーションに向け、現地主要大学との産学連携や企業間連携を加速させる。

また、有望なスタートアップ企業を見つけるため、起業家の成長を支援するアクセラレーターとしては世

界最大級の「Plug and Play Silicon Valley」にブースを開設した。

古河電工は、人材、文化、資金、技術が集積し、数多くのプラットフォームやスタートアップ企業が集まる世界的なイノベーション発信地としてシリコンバレーに注目。人工知能(AI)やモノのインターネット(IoT)等の急速な進歩で、社会課題の解決につながる新しい技術の創造、ビジネス環境の飛躍的な変化を取り込んでいく考えだ。



建物の外観

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico ORIGITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

8月のアルミ概況および9月の見通し (1)

橋本アルミ株式会社 橋本 健一郎



予測レンジ

LME 現物後場買い1900-2100ドル 弱い
 スクラップ0~5円(前月最終価格より) 弱い
 為替 110-112円(1か月間TTM) 変わらず

■国際概況

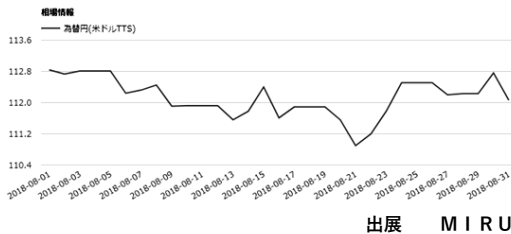
前半は、中国政府が2018年の鉄道への固定資産投資を当初計画の9.3%増しの8,000億元、約1,170億ドル(12.99兆円)に引き上げると報じたこと、Alcoa Pinjarra(オーストラリア)精錬所のストライキ突入などのプラス材料もあったが、中国物流連合会発表の7月の製造業購買担当者景況感指数は51.2(事前予想は51.3)だったこと、7月に公表していた2,000億ドル分の中国製品を対象とした対中制裁の関税率を当初の10%から25%に引き上げるよう米通商代表部(USTR)に指示したなどを嫌気しDOWN。8月14日時点で2,039ドル(セツル)と月初価格から22ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は2016年のクーデター未遂に絡んでトルコで軟禁中の米国人牧師を巡り米国との対立が先鋭化したこと、中国国家発展委員会の当局者が経済は下期に成長リスクの高まりに直面するとの発言などのマイナス材料もあったが、WBMSは今年1月~6月の世界アルミ需給について33万4,000トンの供給不足と発表、米FRB議長がジャクソンホールでの公演でインフレが2%超で加速する明らかな兆候は見られず加熱リスクは高まっていないとの声明したことなどを好感しUP。9月10日現在、後半スタート価格から40ドルDOWNの5,883ドル。建値71万円のスタート。

■国内概況

◆為替

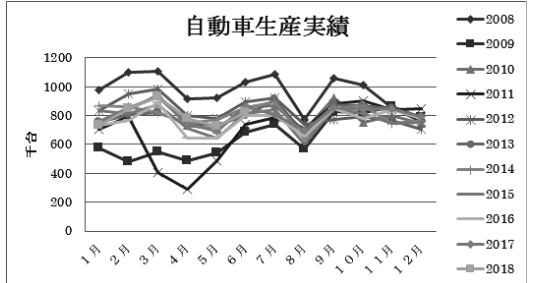
月間のドル/円TTSレートは、111.83-111.03円。



◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-4.4%の82万2,272台であった。

	4月	5月	6月
生産台数	77万76702台	72万5216台	82万22723台
前年比	+3.8%	+4.6%	-4.4%

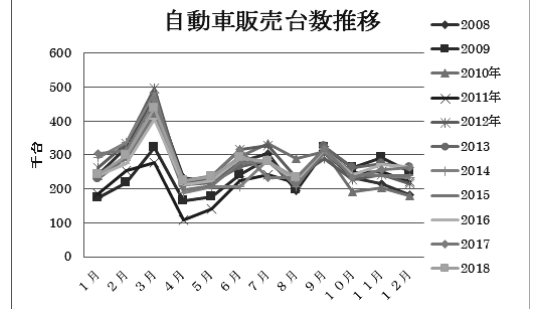


出典 日本自動車工業会

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比-0.2%の23万3,358台であった。

販売台数	6月	7月	8月
	292761台	2万8176台	23万3358台
前年比	-7.3%	+1.2%	-0.2%

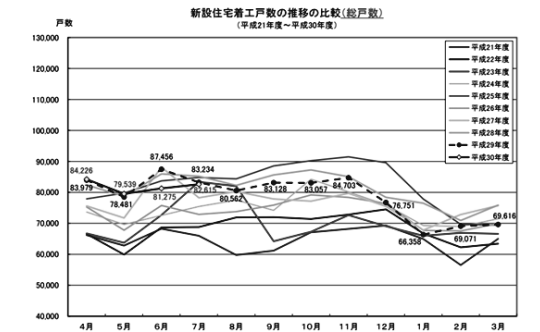


出典 日本自動車販売協会連合会

◆新設住宅着工件数推移

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比-0.7%の8万2,615戸であった。

新設住宅着工数	5月	6月	7月
	7万9539戸	8万1275戸	8万2615戸
前年比	+1.3%	-7.1%	-0.7%



出典 国土交通省統計

(次号に続く)

故銅市況

19日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の5,860.00ドルより143.00ドル高の6,003.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の5,912.50ドルより166.50ドル高の6,079.00ドル。カーブ取引は前日の5,945.00ドル～5,946.00ドルより140.50ドル～140.00ドル高の6,085.50ドル～6,086.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（9月限）は、前日の263.35より7.85セント高の271.20セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の4万8,210元より410元高の4万8,620元。

19日の東京為替市場TTSレートは、前日の112.83円より0.47円の円安ドル高で1ドル＝113.30円。NYカーブLME先物比は13.50ドル安。19日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,003.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USDollarTTSレートから計算した国内採算値は、前日の70万1,000円より1万9,000円高の72万円。この日、電気銅建値は72万円に引き上げられた。

為替動向

18日から19日午前の外国為替市場で、円相場は1ドル＝112円台に下落した。

19日の東京外国為替市場、午前9時現在は、1ドル＝112.27円～112.30円、前日の17時時点に比べ0.31円の円安・ドル高。

日刊金属

外電配信料
(税別)

6 ヵ月：42,000 円

12 ヵ月：84,000 円

18日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は、1ドル＝112.30円～112.40円、前日の同時刻比0.40円の円安・ドル高だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.52円の円安・ドル高、1ドル＝112.31円～112.41円で取引を終了した。

米トランプ政権が2,000億ドル相当の中国製品に対し第3弾の制裁関税措置を24日から実施すると発表。一方、これまでの2度にわたる制裁措置で25%としていた税率を、今回は10%とした。中国も報復措置を発表、米国製品に10%の関税を課すとした。ニューヨーク市場の取引時間帯では、米国が対中協議の余地を残したと受け止められ、過度な警戒感が後退。債券買いが進んで米長期金利が上昇し、日米金利差の拡大観測から円売り・ドル買いが進んだ。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.04円～112.39円だった。

東京市場でも、米中貿易摩擦のリスク回避姿勢が和らぎ、朝方から低リスク通貨とされる円が売られる展開となった。東京株式市場で日経平均株価が大幅に上昇していることも、リスク選好から円の持ち高をいったん解消する動きにつながっているもよう。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅（高品位＝約97%）は475、セバは494～499。コーベルは要り用筋で425、それ以外は417ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋380、それ以外363～388どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が578～583、上銅新くずが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅(90-93%)が462～429、下銅が304～354、セバが461～471、コーベルが417～457、黄銅棒地が413～418、黄銅削粉が321～368、黄銅ラジが372～380、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが166～181、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。

鉛屑・半田屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨滝 卓

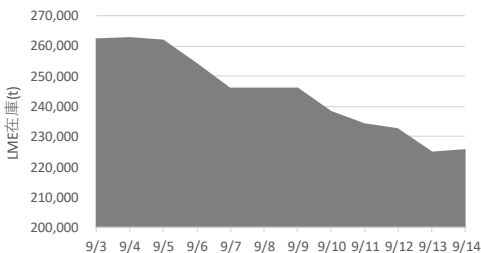
奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

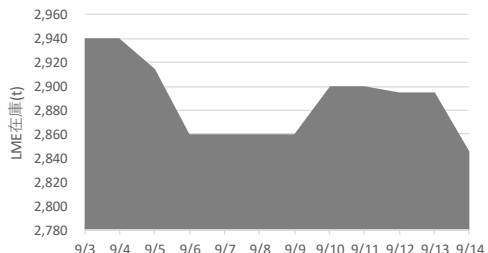
高価買取ります

LME認定倉庫在庫量推移 9月3日～9月14日 (現地)

銅



錫





**LME銅は急反発 公式値ベースで6千ドル台に回復、今月初めの水準
 カーブ取引も大きく反発 COMEX銅相場は続伸 SHFE銅相場は反発
 LME非鉄相場は主要品目で全面高 米中貿易摩擦への過度な懸念後退**

19日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の5,859.75ドルより142.75ドル高の6,002.50ドル。3か月物も、前日の5,880.50ドルより145.00ドル高の6,025.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の22万2,000トンより約8,000トン減のおよそ21万4,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（9月限）は、前日の263.35セントより7.85セント高の271.20セント。カーブ取引は、前日の5,945.00ドル～5,946.00ドルより140.50ドル～140.00ドル高の6,085.50ドル～6,086.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の4万8,210元より410元高の4万8,620元。

17日に米政府が発表した第3弾の対中制裁関税は予想されていたほど厳しい内容でなかった。18日には中国政府も報復措置を発表したがこれも想定範囲内であった。トランプ政権が中国に一定の配慮を見せたことや、中国经济が減速傾向を示していることなど、加熱している関税の報復合戦に係る悪材料がひとまずは出尽くしたと市場では受け止められた。

錫は反発

LME錫相場の直物は、前日の1万8,955.00ドルより70.00ドル高の1万9,025.00ドル。3か月物も、前日の1万8,912.50ドルより50.00ドル高の1万8,962.50ドル。

鉛も反発

LME鉛相場の直物は、前日の2,039.75ドルより6.00ドル高の2,045.75ドル。3か月物も、前日の2,041.00ドルより12.00ドル高の2,053.00ドル。

亜鉛も反発

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,286.00ドルより60.50ドル高の2,346.50ドル。3か月物も、前日の2,310.50ドルより53.50ドル高の2,364.00ドル。

アルミも反発 アルミ合金はまちまち 北米特殊アルミ合金は続落

LMEアルミ相場の直物は、前日の1,984.75ドルより26.75ドル高の2,011.50ドル。3か月物も、前日の2,017.25ドルより23.25ドル高の2,040.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,495.00ドルより10.00ドル高の1,505.00ドル。3か月物も、横ばいの1,560.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,531.00ドルより1.50ドル安の1,529.50ドル。3か月物も、前日の1,600.00ドルより20.00ドル安の1,580.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ104万1,000トンより約6,000トン減のおよそ103万5,000トン。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の直物は、前日の12,232.50ドルより82.50ドル高の12,315.00ドル。3か月物も、前日の12,345.00ドルより42.50ドル高の12,387.50ドル。

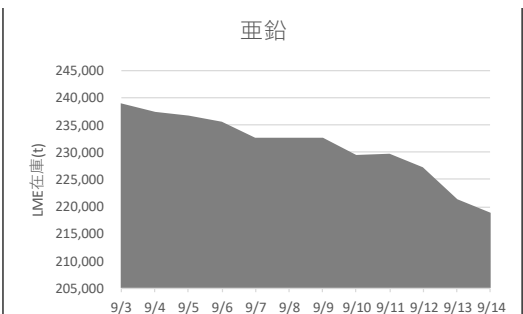
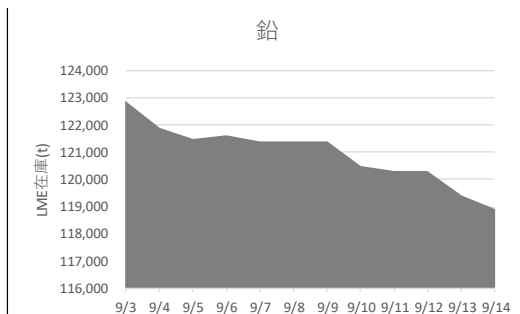
アルミ二次合金メーカー買値実勢値
 1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(9月前半)
 2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械铸件)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(9月前半)
 2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械铸件=146円～151円、ダライ粉=121円～123円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=127円～132円。

LME公式値（単位：ドル）／9月18日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,002.50	19,025.00	2,045.75	2,346.50	2,011.50	1,505.00	1,529.50	12,315.00
	前営業日比	142.75	70.00	6.00	60.50	26.75	10.00	▲ 1.50	82.50
先物	公式値	6,025.50	18,962.50	2,053.00	2,364.00	2,040.50	1,560.00	1,580.00	12,387.50
	前営業日比	145.00	50.00	12.00	53.50	23.25	0.00	▲ 20.00	42.50



海外非鉄金属相場

(9月19日 入電・現地 9月18日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, and high/low values.

NY コメックス相場

出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing NY Comex prices for Gold, Silver, Platinum, and Palladium with monthly and daily price data.

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for LME and COMEX prices in Yen, listing metals like Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

フリー・マーケット

米国生産者価格

Table for US Producer Prices for Copper and Silver.

NY相場

Table for NY market prices for Copper and No. 2 Wire.

ロンドン相場(ドル)

Table for London market prices for Gold, Antimony, Bismuth, Cadmium, Indium, Selenium, and other metals.

K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table for K L T M Tin prices showing exchange rates and market prices.

L M E 在庫(トン)

Table for LME inventory levels for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and other alloys.

コメックス銅在庫(トン)

Table for Comex Copper inventory levels.

NYカーブ

Table for NY Copper and Aluminum forward curves.

上海相場

Table for Shanghai market prices for Copper, Aluminum, Zinc, and Tin.

非鉄金属製品相場

(9月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◎ 950	◎ 980	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◎ 960	◎ 990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◎ 1120	◎ 1180	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◎ 1150	◎ 1170	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 810	◎ 850	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◎ 920	◎ 980	軽圧品(仲値)		
銅条1.5×100	◎ 930	◎ 980	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	◎ 1010	◎ 1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◎ 930	◎ 980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◎ 1210	◎ 1220	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆ 795	◆ 820	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆ 820	◆ 840	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆ 975	◆ 1030	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆ 1390	◆ 1310	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆ 1340	◆ 1360	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◆ 650	◆ 690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◆ 680	◆ 720	貴金属(一般小口向け)		
四角棒	◆ 710	◆ 750	白金(グラム)	◎ 3259	
鍛造用	◆ 690	◆ 730	パラジウム(グラム)	◎ 4028	
ネーパル	◆ 790	◆ 830	金(グラム)	◎ 4722	
高力	◆ 790	◆ 830	銀(キログラム)	◎ 58320	
黄銅線6ミリ	◆ 1025	◆ 1070	合金鉄		
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1230	◆ 1290			7月輸入単価(CIF)
黄銅条1.5×100	◆ 785	◆ 830	レアメタル輸入価格		
リン青銅板一般用1.0ミリ	1820	1800			7月通関(CIF)
〃 バネ用0.3ミリ	2040	2010	金属ケイ素(99.99%未満)	242	
リン青銅棒25ミリ	2070	2080	モリブデン酸化物	2123	
リン青銅線3ミリ	2230	2210	タンタル	52613	
洋白板一般用1.0ミリ	2670	2620	マグネシウム	268	
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2840	コバルト	10322	
			インジウム	29583	

合金鉄	7月輸入単価(CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	141
〃 その他	172.6
フェロシリコン55%以上	167
フェロクロム4%以上炭素含有	168
フェロモリブデン純分60%以上	2048
フェロバナジウム	5824
フェロニッケル33%未満	452.5
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	9月18日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	2630
2種	2565
3種	2495
4種	2205
5種	2120
7種	885
8種	800
9種	715

銅合金地金	9月19日発表	
(標準価格)	大阪	東京
BC 1種	775	—
2種	950	—
3種	990	—
6種	◆ 830	—
7種	865	—
YBSC 3種	◎ 685	—
LBC 3種	955	—
PBC 2種	1010	—

